廿八日 夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

自動車を食ふ男 詐欺の天才檢擧

自動車專問に四千圓騙る

平署では最近頻々として舞込む投書から湯本町字天王崎石炭商鈴木義光（四〇）を詐欺罪被疑者として引致渡部温部長係りで取調べたところ果然この男は稀代の詐欺師であることが判明した

即ち去月三十日平町一丁目オートバイ商加瀬源方に至り運轉工合を見てから購入するからと稱し中古オートバイ（價格八十圓）一臺及びトラック一臺（價格三百二十圓）を騙取使用してゐた外昨年十二月には仙臺市新坂通り佐藤惣二方から同樣手段で新品トラック六百圓を騙取湯本町矢吹運輸部に二百圓で賣却費消した外八年九月東京市荒川區日暮里町大澤定次郎から味噌醬油を送ると欺き手附金として二千八百圓の巨額を詐取したことを自白した。

平署では意外の大物に驚き川島司法主任の手に移し嚴重余罪取調べ中であるが近く取調べ終了とゝもに身柄送局される筈。

間ぬけた容姿で 相手を信用させる

妾宅を構へて豪奢な生活

（別項）トラック詐欺魔鈴木義光は茨城縣多賀郡磯原町生れ昨年四月から湯本町に居住してゐたもので一見ボンヤリとしたところがあるが、彼は逆にその朴訥な容貌を利用して相手を信用させ一擧に巨額の詐欺を働らいてゐたもので、昭和五年に詐欺罪で懲役五ケ月の体刑を課せられ執行猶豫中であつた。なほ彼は郷里磯原に本妻を殘し湯本町に堂々たる妾宅を構へて常に磯原―湯本を往復『二人の妻』を相手に豪奢な生活を續けてゐたもので取調の平署員も彼の大膽な遣口には舌を捲いてゐる。

日露戰爭 當時の座談會

四倉町では在郷軍人分會と共同して來る三月十日の陸軍記念日をトして日露戰役に從軍した老兵士等四十余名を招ぎ午前九時より諏訪神社々前に集合忠魂碑に參拜、午後六時より小學校に於て日露戰爭の座談會を開き中野中佐の講演もある筈である。

三業保健の聯合組合結成

きのふ創立總會

平署管内料理業（三業保健）組合聯合組合創立總會は二十七日午後一時から平署會議室で開き左記役員を決定、今後は各組合打つて一丸となり三業保健組合の確立を期するとゝもに嚴重なる檢徹を勵行することゝなつた。

▲組合長横山宗延▲副組合長佐々木次郎、齋藤鐵次郎（平）赤津辰吉、柳澤今朝一（小名）▲支部長（平）正佐々木熊吉、（副）宮内安太郎（小名濱）相澤寅松、小幡直（内郷）酒井盛治村上酉治（湯本）大谷銀治、上遠野武行（江名、豊間）志賀寛馬目廣好間）佐藤一男▲會計田崎信德（平）▲顧問山野邊義政。

地久節を中心に 母の週間

平町で記念行事を計畫

平町では明一日午後一時から平婦人會、女子青年團、愛國婦人會、國防婦人會等の幹部を町會議事堂に招き『母の週間』記念計劃に就き協議する。

同週間は三月六日の地久節（母の日）を中心として三日から一週間に亘り婦人の人格向上、家庭振興を圖り母の日の趣旨普及に努めるものであると。

四倉町の 起債認可

四倉町では縣營四倉漁港修築事業工費地元負擔金に充當するため金一萬三千圓起債の認可を申請中の處二十六日付を以て大藏内務兩省より認可された。

▲江名町豫算町會　江名町會は二十七日午前十時から開き十年度豫算外七件を付議した。

悲壯な決意も空し 大阪から徒歩で皈郷

一家の窮狀を救はんとした 乙女二人主家を追はれ……

内郷村佐藤經雄二女のりゑ（一六）同村木滑貞太郎長女すゑ（一六）の兩名は不況に喘ぐ一家の窮狀を見るに忍びず昨年十月乙女心に悲壯な決意を固め二人揃つて郷里を捨て大阪へ赴いたが身寄とてもなく就職口が見付からぬので京都に赴き宮川町の某藝妓置屋に女中代りに使はれ糊口をしのいで居たがこの程同家も放逐され二人は最早歸郷するより他術なしと遠い東北の空を目指してとぼ〴〵と東海道を歩いて居るのを去る二十五日愛知縣西春日井郡西枇杷島町で同町の方面委員渡邊安次郎氏の目に止まり同氏の同情で豊橋までの切符を與へられ豊橋署へたどりつき助けを求めたので同署でも大いに同情し旅費を與へ二十七日朝旅立たした旨平署に通知あつた。

病床に呻吟して 餓死を待つ老父

家を捨てネオンに狂ふ娘 平署に說諭方を哀願

東京市荒川區三河島森松之助長女春子（二七）は一昨年春實子耕一（八）を父に預け毎月養育費を送金する約束で出稼ぎに行き各所を轉々して最近湯本町東町カフェー惠比壽屋こと佐藤鶴次方に女給をしてゐるが養育費を送れと手紙をやつても梨の礫で、神經痛を患つて兩手の自由を失ひ仕事も出來ず難澁してゐる松之助は娘が是非歸宅するやうにと二十八日平署へ說諭方を願出た。

第一方部研究會

教育施設を協議

石城郡教育會第一方部研究會は二十八日午前十時から内郷村御厩小學校で開き各學校長參集、學校施設並に新學期行事の打合せその他を協議した。

▲飯野豫算村會　飯野村十年度豫算村會は二十七日開いたが新豫算二萬二千五百六十九圓である。

ふくよかな春の感觸 このごろの温暖さ

冬は既に姿を消した！ 今年は陽氣が早いと觀測

二十六日午後から翌曉にかけて降り續いた「春雨」の置土産か、きのふ、けふの平地方の温暖さは早くも陽春の訪れを思はせて氣早やな人達は重いオーバーをさらりと脱ぎすてて輕快な服裝で春のふくよかな感觸を愛でつゝ高き靴音を舗道に響かせてゆく。あゝ三月だ！　これからは一雨毎に暖氣を增して例年よりも早く櫻が咲くものと見られてゐる。小名濱測候所の話

支那大陸方面に昨年末から停滯してゐる高氣壓か割合に弱いため今冬は天候に變調を來したが今月に入つてからは一般的に高温で一日平均一度五分程高かつた春の魁である、春雨が降り、これからは日增しに暖さが加はることゝ思はれ櫻の花も平年よりは隨分早く咲くことでしよう、これからいくら寒いといつたところで大したこともなく朗かな春が訪れるでせう。

磐崎養蠶實組總會

磐崎村大字下湯長谷養蠶實行組合總會は二十八日午後六時から開き十年度豫算、組合役員改選その他を協議する。

▲四倉入學兒童

四倉町に於ける昭和十年度の新入學兒童數は二百六名にして男百六名、女百名で入學期の四月一日迄には三十名の增加を見る模樣である。

東京 優良星印（本邦元祖）
フトン袋
ロツプ式
バンド式
三枚入型
五枚入型
小大兼用型
各種
○旅行に　婚禮に　保存に　非常用に……
一家の御便益を一個で用立てます。
正 中野洋品店 平二 電53

鼻の藥『チクノール』
山野邊藥局

今夜水道斷水

禰宜町方部

平町では彌宜町地内に於ける消火栓敷設工事のために二十八日午後十時から翌朝四時まで同方部の水道斷水する。

▲博覽會に出品　平町左記二氏は近く熊本市で開催される新興熊本大博覽會にそれ〴〵出品する。

馬目武之助（手拭）九点▲草野七五三之助（印伴天）

また同町材木町石山忠三氏は横澤博覽會はムシカマド二点を出品すると。

卓球協會幹部打合＝平卓球協會では二十四日午後七時から南町一の井で幹事總會を開き今年度スケヂユールに就き打合せをした。

下山竹乃子

明日から開演

兄姉の追善興行

嘗て少女時代に新派劇一座の座長として出演しファンを熱狂せしめた下山竹の子孃は兄姉を失つて以來劇壇を退き東京に閑居してゐたが平地方の懇望により明一日から四日まで聚樂館で兩兄姉の追善興行として一座松竹幹部三十余名を率ひ數年ぶりで開演する事になつたので早くも前人氣を煽つてゐる。

父皈れ！

留守宅から捜索願

宮城縣刈田郡宮村字下別當我妻彦一郎（四三）は昨年九月無斷出奔したまゝ沓として消息を絶つたが、風説に聞くと最近に至り平町片倉製糸工場で女工をしてゐる娘の我妻りきよ、ための兩人に面會に行つたとのことで平地方に居るらしいからと實弟健一郎から二十八日平署へ捜索願

濱三郡理髮結業組合總會＝濱三郡理髮業組合定期總會は來月十七日午前十時より浪江小學校講堂で開催することに決定した。

▲年上の妻●家出　茨城縣東茨城郡上大野村大字吉沼小宮辰之助方三村兼吉（二三）内縁の妻吉原さだ（三〇）は水戸市東七丁目で飲食店を經營してゐたが去る四日午後六時頃無斷逃走した。同人は曾てカフエーに女給として動らいてゐたことがあるので或は平地方で女給をしてゐるのではないかと二十八日年下の夫兼吉から平署へ捜索願。

▲番頭よいづこ　水戸市上市九丁目三三小圷金兵衛長男善一郎（二一）は同市馬喰町雜貨商川又龜次郎方に雇はれてゐたが去る十八日の皈入りで實家に歸ると稱して出たまゝ家にも戻らず行方不明となつたので或は與太者にでも誘拐されたのではないかと廿五日實父から平署に捜索願。

急募

一、有給男女社員　年齢問ハズ
一、募集人員　數名
一、履歴書携帶　本人來談

右至急募集ス

平南町一九　一德合資會社　平支店

手當豐富

牛乳配達夫中女　數名至急入用

四倉驛前　鈴木牛乳舍

内科

平南町（電二四三番）

川井内科診療所

川井安子

理想的强壯榮養料

血肉トーゼ

高級滋養劑で味甘く女子供も喜んでのめる。

適應症
血少なく顔色惡き人、胸おどり心臟弱き人、夫病又は産後の衰弱、過勞疲勞又は天性虚弱者、小兒の榮養不良
一圓
一圓五十錢
二圓

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎特に病氣見舞には最的品

特約店　大平屋藥局　平町一丁目　電話六四二番

輪界に唯一ツ

鋼鐵製全廻轉部防水式

山口ノ自轉車

注油不要、堅牢經濟品ノ良イ値ノ安イ

—（カタログ進呈）—

代理店　大高自轉車店　平土橋

10日

機設檢査新

体温計の檢査日です

お宅の体温計は？

◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の檢査日御利用下さい

度量衡計量器指定販賣人　西村屋藥局　電三番

鳥料理　水たき　うなぎ　仕出し

平町田町　魚榮　電話四二四番

謹啓嗣子達三郎儀病氣の處藥石効無く本朝午前三時永眠仕り候間此段御通知及候也

追而葬送の儀は來る三月二日午後二時泉村自宅に於て告別式相營み後小名濱町淨光院に埋葬致可候

昭和十年二月二十八日

石城郡泉村　水野德次郎　舟生賢太郎　外親戚一同

謹啓當會社員水野達三郎殿病氣の處藥石効無く本朝午前三時永眠仕り候間此段及御通知候也

追而葬送の儀は來る三月二日午後二時泉村自宅に於て告別式相營み後小名濱町淨光院に埋葬致可候

昭和十年二月二十八日

福島縣石城郡泉驛前　泉運送合資會社

かまぼこ　製造　折詰仕出

平町一丁目（電話一四一番）

天藤寅

れ惣菜用　さつま揚　吉原揚

内科　小兒科　花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町　電話長五〇七番